



ともに チャレンジ！ 綾川中学校

学校だより No. 7
2025年7月3日

大会・コンクール壮行会 開催！

6月30日（月）に、「大会・コンクール壮行会」を開催しました。「壮行」には、「人の旅立ちを励まし、盛大に送り出す」という意味があり、壮行会は、大会の開催地に向かう選手やチームを鼓舞し、活躍できるよう応援する目的で開かれるものです。本校でも、大会に出場する選手や生徒のこれまで頑張ってきた努力を労うとともに、チームの士気を高めるというねらいをもって行いました。

はじめに、2年生の生徒会本部役員から、大会・コンクール壮行会の本年度のテーマが発表され、次のようなテーマに込める思いの説明がありました。

今年のテーマは「Step up 『躍動』」です。『躍動』には、「生き生きと動く」という意味があります。全校生が一丸となることで、不安な気持ちを払拭し、生き生きと演技、演奏をしてほしいという思いを込めています。チームの思いを一つにし、躍動感あふれる演技、演奏を目指して、大会・コンクールまでの残りの期間頑張ります。

令和7年度大会・コンクール壮行会テーマ



【生徒会からのメッセージ】

総体・コンクールに臨むにあたって、生徒たちには、これまで歩んできた道のりに、意味や価値をもってほしいという思いから、次のような話をしました。

これから始まる大会・コンクールは、今のチーム、なかまとして集大成となる大会・コンクールであり、3年生にとっては中学校最後の大会・コンクールです。大会やコンクールに出場する選手、生徒のみなさんが着ているユニフォームや制服には綾川中学校の名前やロゴが付けられています。それは、綾川中学校の象徴であり、団結、責任、自信、誇りなどを示していると思います。

みなさんに問います。これまで歩んできた道のりはどうだったのか考えてください。

- ① チームのなかまと力を合わせて取り組んできた一步一步の歩みは、どんな歩みでしたか。
- ② その歩みは、綾川中学校という学校名を背負って出場するにふさわしいものですか。
- ③ 試合やコンクールに出場できないなかまがいるとすれば、その思いをどう案じていますか。
- ④ 自分として、チームとして、やるべきこと、できることは、すべてやり切れましたか。

大会・コンクールまでの残された時間はまだあります。まだまだ「進化」できます。どうすればよいか。それは、普段している「時を守る」「場を整える」「礼を正す」を「きちんとする」ことです。例えば、各部活動で決めている練習開始時刻を全員が守る。部活動だけではありません。3分前入室。1分前着席。授業50分間集中。靴や荷物をそろえ並べる。自転車を並べる。進んであいさつをする。いつも使っている用具や場所、練習相手（なかま）に感謝する。・・・などです。これらは、大会・コンクール当日も同じです。普段通りのことを「きちんとする」ことで、自分の気持ちが整い、なかまの気持ちも整い、さらには、チームとして整う。つまり、チームの「進化」につながります。

本気になって万全の準備と仕上げに取り組んでください。チームの誰もが、自信と誇り、責任をもって、ユニフォームや制服に身を包むことができ、そして、出場する者は、心身が整った状態でコートやステージに立つことができる、そんなみなさんであってほしいと思っています。

とは言っても、試合には勝敗が、コンクールには成績が付きます。必ずしも望んでいる成果が得られるとは限りません。どんな結果になったとしても、目標を掲げ、チームのなかまとともに汗を流し、頑張ってきた道のりは、尊いものであるはずで、私たち綾川中学校の代表として、最後まで全力を尽くしてほしいと願っています。心から、応援しています。

各部活動やクラブチームの決意表明は、これまでの歩みや大会・コンクールに向けた思いがしっかりと述べられ、団結を確かめ合うようにパフォーマンスを行う生徒たちの姿は、堂々としており、大変頼もしいものでした。

その後、1・2年生の有志によって結成された応援団のリードによる応援エールを、生徒と教職員全員で贈りました。



【1・2年生の有志応援団による応援】



【広報委員会からの応援メッセージ】

先輩たちの頑張りを精一杯応援しようという心意気がひしひしと伝わってきました。そして、最後には、大会・コンクールに出場する選手、生徒も含めて、会場にいる全員で校歌を歌いました。綾川中学校の結束が一段と強くなったと感じる壮行会でした。